

株主の皆さまへ

2021年3月期（第121期）第2四半期

バルカーレポート

2020年4月1日 ▶▶ 2020年9月30日

Value & Quality

THE VALQUA WAY

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2021年3月期（第121期）第2四半期バルカーレポートをお届けします。

当第2四半期までのわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大ペースがやや鈍化し、製造業の一部にも持ち直しの動きが見られたものの、全体的には企業活動と個人消費は引き続き弱い状況となりました。

また、海外経済は、新型コロナウイルス感染症を巡る状況がさらに悪化した国・地域が多くあったことに加え、米国と中国との通商問題への懸念が高まったことなど、先行きに向けて不透明な要素も多く、回復に向けての動きは乏しいものとなりました。

このような事業環境下バルカーは、新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響を最小限に抑えるべく各種の対策を速やかに実施するとともに、当期から開始した3か年中期経営計画“New Frontier 2022”（NF2022）に沿って、将来の回復・成長に向けた戦略を推進しました。

当期後半においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大、米中通商問題、わが国と周辺国との外交問題など懸念される材料が多く存在し、事業環境がより厳しさを増すことも想定されます。

そのようななかバルカーは、“未来と未知に挑むチャレンジングな企業”として“ポストCOVID-19”における経済活動の回復への貢献を強く意識し、バルカーのそして地球全体の価値創造に向けた活動を続けてまいります。

2020年12月

代表取締役会長CEO

龍澤利一



シール製品事業

売上高 **15,398** 百万円
売上高構成比 **71.2** %



事業概況

シール製品事業は、先端産業市場向けの業績が回復したものの、機器市場や海外のプラント市場向けの販売が減少し、売上高は153億9千8百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益は20億9千5百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

今後の展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における業容を拡大するとともに、機器市場やプラント市場に向けては新たな顧客価値を提供し、収益力の向上を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **4,936** 百万円
売上高構成比 **22.8** %



事業概況

機能樹脂製品事業は、主要市場からの需要が減少したことに加え、一部顧客への製品の納入時期が延期されたことにより、売上高は49億3千6百万円（前年同期比28.1%減）、セグメント損失は3億3千9百万円（前年同期は4億9百万円のセグメント利益）となりました。

今後の展開

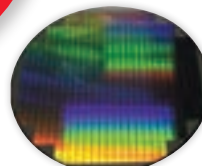
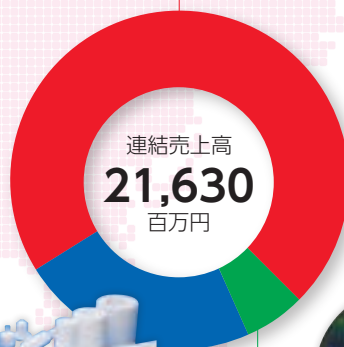
先端産業市場・プラント市場向け戦略製品を軸にグローバルシェアの拡大を実現しつつ、選択と集中を強く意識した事業改革を推進し、収益性の改善を図ってまいります。

事業概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業の受託量が減少し、売上高12億9千5百万円（前年同期比25.3%減）、セグメント損失は6千9百万円（前年同期は2億4千8百万円のセグメント利益）となりました。

今後の展開

シリコンウエハーリサイクル事業における収益力の強化に加え、H&S（ハード&シールエンジニアリング・サービス）事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。



シリコンウエハーリサイクル事業他

売上高 **1,295** 百万円
売上高構成比 **6.0** %

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	24,915	21,630
売上原価	15,468	13,006
売上総利益	9,447	8,624
販売費及び一般管理費	6,902	6,938
営業利益	2,545	1,685
経常利益	2,529	1,762
税金等調整前四半期純利益	2,593	2,558
四半期純利益	1,867	1,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,816	1,803

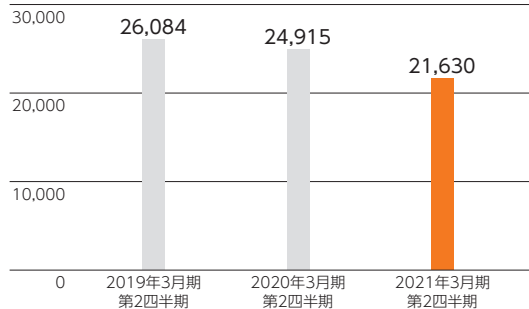
四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2020年3月31日	当第2四半期末 2020年9月30日
資産の部		
流動資産	26,811	29,440
固定資産	21,317	21,650
資産合計	48,128	51,091
負債の部		
流動負債	10,517	11,178
固定負債	2,680	3,907
負債合計	13,197	15,086
純資産の部		
株主資本	32,843	33,840
その他の包括利益累計額	490	600
非支配株主持分	1,596	1,563
純資産合計	34,930	36,004
負債純資産合計	48,128	51,091

売上高

単位：百万円

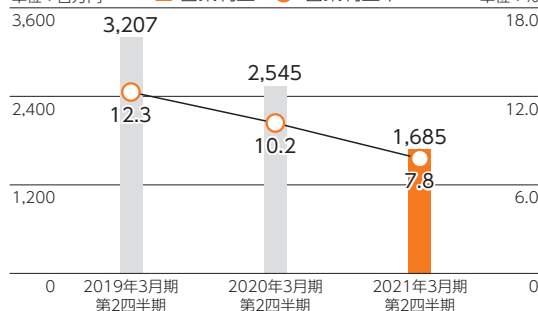


営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

■ 営業利益 ○ 営業利益率

単位：%



配当

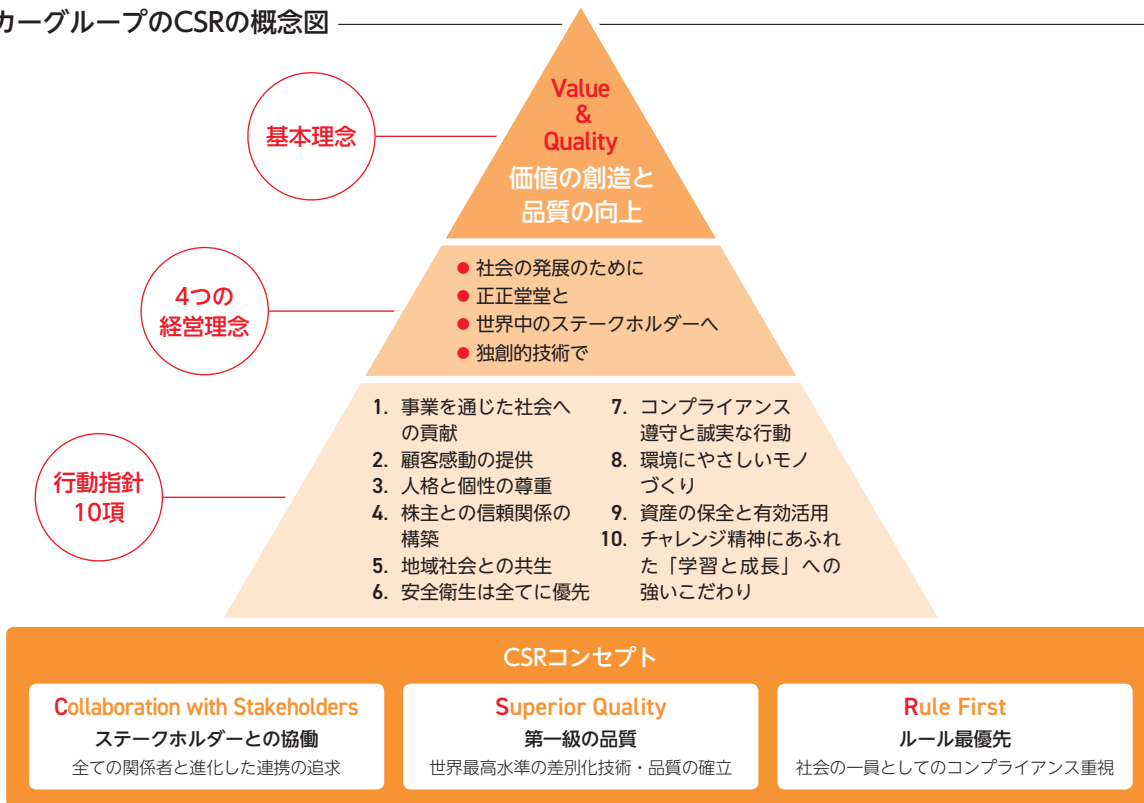
	中 間	期 末	年間配当
2019年3月期	45.0 円	50.0 円	95.0 円
2020年3月期	50.0 円	50.0 円	100.0 円
2021年3月期	45.0 円 (予想)	45.0 円 (予想)	90.0 円 (予想)

バルカーのCSR活動と企業理念「THE VALQUA WAY」

バルカーのCSR活動は、グループの基本理念「Value & Quality（価値の創造と品質の向上）」のもと、従業員が理解し実践する企業理念「THE VALQUA WAY」、さらには独自のCSRコンセプト「ステークホルダーとの協働（C）」、「第一級の品質（S）」、「ルール最優先（R）」を指針とし、世界の各拠点で活発に行われています。

バルカーは2027年に創業100周年を迎えます。その積み重ねてきた歴史にふさわしい社会的な責任を果たすとともに社会からの期待に応えるため、社員一人ひとりがそしてバルカーグループそのものがより良き地球市民として「持続可能な社会を実現するために、THE VALQUA WAYの精神に沿って何ができるか」を考え、それをCSR活動に反映していきます。

バルカーグループのCSRの概念図



持続可能な社会の実現に向けた取り組み

バルカーはSDGs（国連が定めた持続可能な開発目標）とGRIスタンダード（サステナビリティ報告に関する国際的なガイドライン）をもとに、ステークホルダーとバルカーとのつながりを検証し、CSRの重要課題（15テーマ）を設定しています。

バルカーのCSR活動の中心的組織である「バルカーグループCSR推進委員会」は、グループのCSRの方向性を決めるとともに、各テーマの活動を指導

する役割を担っていますが、今後は常に変化する企業に対する社会的要請の把握と、それへの対応により重点を置いていく計画です。

バルカーは、創業100周年におけるありたい企業像の実現と持続可能な社会への貢献に向かい、SDGsへの意識をより高めたCSR活動を行っていきます。



CSRの重点的な取り組みを年次レポートにしています。2020年（7月発行）のレポートから、持続可能な社会の実現により一層貢献していく決意を含め「CSRレポート」から「バルカーグループサステナビリティレポート」に、名称を変更しました。特集記事には貢献するSDGs目標を掲載しています。

PDF版 <http://www.valqua.co.jp/social/report/>

会社の概況 (2020年9月30日現在)

社 名	株式会社バルカー (英文表記 VALQUA, LTD.)
創 業	1927年1月21日
設 立	1932年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	11,175名
従業員数	437名 (連結 1,836名)

役 員 (2020年10月1日現在)

取締役

代表取締役会長 C E O	瀧澤 利一
代表取締役社長 C O O	本坊 吉博
取締役 上席専務執行役員 C C O	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 C T O 兼 C Q O	青木 睦郎
取締役 (社外)	関 忠行
取締役 (社外)	三木 緑
取締役 (社外)	関根 近子

監査役

常 勤 監 査 役	高 昭夫
監査役 (社外)	八戸 孝彦
監査役 (社外)	高橋 秀法

CEO：最高経営責任者
COO：最高執行責任者
CCO：最高コンプライアンス責任者
CTO：最高技術責任者
CQO：最高品質責任者

執行役員

専務執行役員	浜田 浩
専務執行役員	小林 健一
常務執行役員	森田 信利
常務執行役員	櫻井 慎也
常務執行役員	椿山 善昭
常務執行役員	瀧澤 利治
執行役員	小川 禎
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	立田 寛
執行役員	伏屋 克俊
執行役員	植木 聡
執行役員	古澤 実
執行役員	藤下 尚彦
執行役員	野邊 淳嗣

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公 告 方 法 電子公告
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL：03-5434-7370 FAX：03-5436-0560
URL：http://www.valqua.co.jp/



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。